《当健診センターでは各種オプション検査を実施しております！～オプション検査のご案内～》

＜気になる症状や項目＞		＜検査名称＞	＜検査紹介＞	＜検査内容＞	＜所要時間＞	＜こんな方にお勧め＞	＜料金(税込)円＞
がんが心配な方	胃がん	胃カメラ検査	胃カメラ検査とは消化管の上部にあたる食道･胃･十二指腸部分の状態を経口（口）や経鼻（鼻）から内視鏡を挿入し確認する検査です。近年は胃がんの死亡率減少の効果が確認されており、胃の内部を直接観察しますので、病変が見つかればすぐに組織の一部を採取して検査できることも大きなメリットです。	経口内視鏡検査 経鼻内視鏡検査	20～30分程度	50歳以上の方 胸やけ、胃の痛みなど症状のある方 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎と言われたことのある方 バリウム検査が苦手な方	4,400
		ペプシノゲン検査	ペプシノゲンとは胃の粘膜から分泌される消化酵素のペプシンを作る物質のことであり、食べ物の消化を助ける働きがあります。血液中のペプシノゲンが減少することによる、胃粘膜の萎縮（萎縮性胃炎）度合を調べる検査となります。 また萎縮性胃炎（胃の粘膜が次第に薄くなる）の方は胃がんが粘膜から発生しやすくなるため胃がんのリスクが高くなると言われております。 この検査では胃がんのリスクを推測する検査であり、直接胃がんを見つける検査ではありません。 ※胃酸を抑える薬をお飲みの方、胃切除後の方、過去に検査を受けたことがある方はお勧めしません。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	胸やけ、胃の痛みなど症状のある方 暴飲暴食やアルコールの過剰摂取など、不摂生な生活の積み重ね、ストレス、萎縮性胃炎などと言われたことがある方 近親者に胃がんを患った人がいる方 過去にこの検査を受けたことがない方	3,300
		ピロリ菌検査	ヘリコバクター・ピロリとは胃に生息する細菌で、高齢者ほど感染率が高くなっておりますが、原因は幼児期の生活環境に関係していると言われております。 そのピロリ菌感染を調べる検査であり、胃がんの99%はピロリ菌感染がベースにあり、ピロリ菌に感染している方は感染していない方に比べ20倍以上も胃がんになる確率が高いと言われております。 ※過去にこの検査を受け陰性と言われた方、陽性と言われ除菌済の方はお勧めしません。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	過去にこの検査を受けたことがない方	2,200
	肺がん	肺ドック	肺ドック検査とは胸部X線検査では見つけることが困難な小さな病変を発見することができるヘリカルCT検査と気管支や肺野にできたがん細胞の一部が痰とともに排出されることがあるため、その細胞を調べる喀痰細胞診検査を併せた結果を総合的に判定します。 肺がんはがん死亡率が高い（男性1位・女性2位）状況にあり、早期がんであれば5年生存率は70%以上と言われております。（がん登録・統計資料より） ※妊娠中（疑）の方はお受けできません。	CT検査（Ｘ線） 喀痰細胞診検査	5分程度	40歳以上の方 喫煙者または過去に喫煙されていた方 身近に喫煙者がいる方（受動喫煙） 近親者にがんを患った人がいる方 咳、痰、息切れなどの症状がある方	12,100
	膵臓がん	膵臓・胆のうドック	膵臓がんは早期発見が重要です。腫瘍の大きさが小さいうちに発見された場合、５年生存率は８０%以上（日本膵臓学会より）と言われております。検査内容は、血液検査・腹部エコー検査・ＭＲＩ（ＭＲＣＰ）検査となります。 ※人間ドックと併用実施の場合、別日にＭＲＩ検査を行い、人間ドックの結果と合わせて診断します	血液検査 腹部エコー検査 ＭＲＩ(ＭＲＣＰ)検査	人間ドック受診当日 10分程度 ※別日でＭＲＩ検査実施	タバコを吸う方、たくさんお酒を飲む方 糖尿病・慢性膵炎・肥満の方 膵のう胞をもっている方 家族歴に膵がんがある方 エコー検査で膵臓が見えづらい方	8,800
	がん男性	前立腺がん検診	前立腺がんとは男性特有のがんであり、近年もっとも増加しております。 前立腺がんで上昇することが多いPSAを測定する検査であり、PSA高値の90%以上は60歳以上、がんの発見も50歳を超えてからがほとんどとなります。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	50歳以上の方 排尿に関する症状がある方	2,750
	女性がん	乳がん検診	乳がんとは乳房の中にある乳腺（乳管・腺房）に発生するがんであり、30歳代から50歳代の方がピークとなります。乳房専用X線装置によるマンモグラフィー検査は石灰化の検出感度が高く、しこりが触れる前にも有用な検査です。 現在日本人女性の12人に1人が乳がんにかかると言われており、月に1度の自己検診と最低2年に1度は乳がん検診を受けましょう。 加入されている保険証や年齢により撮影方向（1方向・2方向）が異なります。 ※妊娠中（疑）の方、授乳中の方、埋め込み型ペースメーカー、CVポート（リザーバー）を装着されている方、豊胸手術をされている方はお受けできません。 ※自己検診などでしこりを感じた方は、外来受診をお勧めします。	マンモグラフィー検査 （Ｘ線） 乳腺エコー検査 （超音波）	10～15分程度	40歳以上の方	1方向･･･4,950 2方向･･･6,050 エコー･･･4,400
		子宮がん検診	子宮がんには子宮頸部がんと子宮体部がんの2種類があります。子宮の入口部分の細胞を検査する頸部がんは遺伝などに関係なく、性交経験がある女性なら誰でもかかる可能性があります。近年では20歳代から増え始め、30歳代から40歳代の方が多くかかっております。 経膣エコー検査では子宮筋腫・内膜の病気や卵巣の状態を確認する検査です。 HPV（ヒトパピローマウイルス）とは子宮頸がんの原因ウイルスです。性的接触でしか感染せず、性交経験のある女性の70%から80%は一生に一度は感染すると言われております。一度感染しても2年以内に90%の方がウイルスが勝手に消えていきます。残りの10%程の方が30歳以降も感染が持続し子宮頸部がんになる可能性が高くなります。HPVには100以上のタイプ（型）があり、そのうちハイリスク型というものが子宮頸がんの原因になると考えられております。 HPV検査とはHPVに感染しているか、またどのタイプなのかを調べる検査です。 ※性交経験のない方、妊娠中の方、子宮筋腫などの良性疾患で子宮全摘術を受けた方、過去２年以内に子宮頸がん検診とHPV検査を受診し、両方陰性だった方にはお勧めしておりません。	細胞診 経膣エコー	5分程度	頸部･･･20歳以上の方 エコー･不正出血がある方 40歳以上の方 閉経されている方 一度も妊娠されていない方で月経が不規則な方 過去に子宮や卵巣に所見を指摘されたことのある方 HPV･･･頸部検診同様	頸部　･･･3,850 エコー･･･3,850 HPV ･･･4,950

遠軽Ver.

動脈硬化が心配な方	脳梗塞・脳出血	脳ドック	脳ドック検査とはMR（磁気共鳴）装置を用いた画像診断により、無症状の脳梗塞や小さな脳梗塞、脳出血及び動脈瘤や動脈硬化などの脳疾患の有無を調べる検査です。 脳卒中は寝たきり原因の第1位であり死亡率の高い重大な病気です。高齢者に多く発症しておりますが、近年、若い年代にも増えております。特に高血圧や糖尿病、心疾患などの生活習慣病は脳卒中の危険因子となっております。 ※妊娠中（疑）の方、ペースメーカーなど体内に医療機器・金属が入っている方はお受けできません。 ※閉所恐怖症など狭いところが苦手な方、刺青やアートメイクを行っている方はお受けできない場合があります。	MRI検査 （磁気共鳴断層撮影） MRA検査 （磁気共鳴血管撮影） 認知機能検査	15～20分程度	40歳以上の方 血圧、血糖、コレステロールが高めの方 喫煙者の方 近親者に脳卒中を患った人がいる方	19,800
		頸動脈エコー検査	頸動脈エコー検査とは動脈硬化の検査であり、超音波検査により血管壁の厚さやプラーク（コレステロールや脂肪などが血管壁に沈着したコブ状の隆起）の有無、血管狭窄などを調べる検査です。 頸動脈の動脈硬化を調べることにより、脳梗塞のリスク評価が可能となります。ABI検査と組み合わせて、身体全体の動脈硬化の進み具合を把握し、疾病の予防に務めましょう。	超音波検査	15分程度	血圧、血糖、コレステロールが高めの方 肥満の方 喫煙者の方 近親者に脳卒中を患った人がいる方	4,400
		血圧脈波検査	血圧脈波検査とは動脈硬化年齢及び下肢動脈閉塞の可能性を調べる検査であり、両腕に電極と血圧計、両足に血圧計を装着し腕の血圧と足首の血圧比（血管年齢（ABI））により下肢血管の狭窄の程度を調べる検査です。 また、血液が流れるときのポンプの内側の圧力（血圧）の変化をみて、血液を送り出すポンプ機能が十分に働いているか、つまり動脈が硬くなっていないかどうかをみます。	血圧脈波検査	10分程度	足の症状（冷えや疲れ等）を感じる方 血圧、血糖、コレステロールが高めの方 肥満の方 喫煙者の方 近親者に心筋梗塞、脳卒中を患った人がいる方	2,750
	心筋梗塞	心臓血管ドック	心臓血管ドック検査とは動脈硬化が原因で発症する心筋梗塞や脳梗塞を調べる検査です。動脈硬化は糖尿病・高血圧・脂質異常症、また喫煙習慣などがあると進行しやすく、血管が詰まるまで自覚症状がない場合が多いのが特徴です。血管内にできるプラーク（脂質の塊のようなもの）は、ある程度大きくなると突然破裂し一挙に血栓をつくり血管を塞いでしまうことがあります。元気な人がある時突然心筋梗塞あるいは脳梗塞に見舞われることがあるのはこのためです。 心臓病は日本人の死亡率の第2位で、心筋梗塞や心不全によるものが多く緊急の治療を要します。	血液検査 心電図検査 胸部X線検査 ABI/PWV検査 超音波検査（心臓）	40分程度	糖尿病や高血圧、脂質異常症がある方 動悸や息切れ、胸痛などの症状がある方 肥満の方 喫煙者の方 近親者に心臓病を患った人がいる方 過去に心臓病と言われたことがある方	9,900
		BNP検査	BNPとは心臓に負担がかかると分泌されるホルモンです。BNPは自覚症状が出る前から増加するため、心機能低下（特に心不全）の早期発見に有用な検査です。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	血圧、血糖、コレステロールが高めの方 喫煙者の方 ストレスが多いと感じている方 近親者に心臓病を患った人がいる方	2,750
寝たきり予防		骨粗鬆症検診	骨粗鬆症とは骨の中のカルシウムが減少して骨がもろくになる病気のことです。骨量の減少と骨組織の微細構造の異常の結果、骨がもろくて弱くなる（脆弱性）ことで、骨折が生じやすくなり、寝たきりの原因となります。現在40歳以上の女性のうち5人に1人は骨粗鬆症とも言われております。また偏食やダイエット、喫煙、過度の飲酒も骨密度の低下を招きますので若い方も一度骨の強さを知っておきましょう。	骨密度測定（X線）	1分程度	50歳以上（骨密度が低下しやすい）の方 閉経後の方 卵巣の手術をした方	1,540
感染症		B型肝炎ウイルス検査（HBV）	B型肝炎ウイルスとはB型肝炎の原因ウイルスです。HBVの含まれる血液や体液を介して感染します。 HBVに感染した母親から産まれる際に起こる母子感染や輸血による感染、HBVに感染したパートナーとの性交渉の際に起こることが一般的です。肝臓に感染して炎症（肝炎）を起こし、肝炎が持続すると慢性肝炎から肝硬変、更には肝がんへと進展する可能性があります。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	過去にこの検査を受けたことがない方	1,430
		C型肝炎ウイルス検査（HCV）	C型肝炎ウイルスとはC型肝炎の原因ウイルスです。主にHCV感染者の血液を介して感染しますが、ほぼ半数の方の感染源は不明のままです。 過去の輸血や血液製剤の投与、適切な消毒をしない器具を使っての医療行為、刺青、ピアスの穴あけ、感染者との剃刀や歯ブラシの共有などで感染の可能性がありますが、他人の血液に直接触れることがなければ、家庭や集団生活の感染のおそれはまずありません。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	過去にこの検査を受けたことがない方	1,980
		新型コロナウイルス抗体検査	抗体とは、病原体などの「身体にとって異物」が体内に侵入したときに特異的に反応する物質の総称です。人間はウイルスなどの感染症に罹ると体内に抗体が作られ、病原体を攻撃する仕組みがあります。この検査は、採取した血液から過去に新型コロナウイルス感染症に感染したことがあるか、ワクチン接種により新型コロナウイルス感染症に対する抗体ができているかを調べる検査となります。 ＜留意事項＞ ・新型コロナウイルス抗体については、有効な抗体価の基準は明らかになっておらず、また抗体価が高くても感染する可能性はあります。 ・抗体価は徐々に減少することもわかっております。 以上をご了承のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	新型コロナウイルス抗体の有無と抗体価を確認したい方	1,000
アレルギー		39項目アレルギーセット（View39）	国民の約2人に1人が何らかのアレルギー疾患を持っていると言われています。（厚生労働省：リウマチ・アレルギー対策委員会報告書2011.8より） 本検査は、アレルギー疾患において原因となりやすい39項目を一度に調べることができます。 ＜留意事項＞ ・アレルギー症状を引き起こす可能性のある物質を調べる検査です。本検査により陽性と判断されても、必ずしも症状が発現するとは限りません。 ・陰性と判定されたとしても、そのアレルギー物質により症状が発現する場合があります。	血液検査	採血時 ※追加採血なし	一度も調べたことのない方	14,300